

(メッセ海外通信 2013年10→12月号掲載記事)

～チャイニーズドリーム～

下関市総合政策部国際課
(青島市派遣職員)
木下 清治

初めまして、この度、2013年8月から2015年7月まで2年間の予定で中国山東省青島市へ派遣されました下関市総合政策部国際課の木下清治(きのした きよはる)と申します。これから、2年間よろしくお願いたします。

さて、みなさん「チャイニーズドリーム」という言葉をご存知ですか?ご存知の方も多いたとは思いますが、恥ずかしながら、私はこちらに来て初めて「チャイニーズドリーム」という言葉を知りました。中国語では「中国夢」です。街の至る所で、この言葉を見ることができます。ビルの屋上や街中の看板など、様々なところでよく見かけます。その中でも、特に多いのが、工事現場の壁です。等間隔に、この言葉が掲げられています。



写真は、ある工事現場の壁を撮ったものですが、「中国梦 牛精神」と書かれています。他にも「愛」や「福」などいろいろなバリエーションの言葉が「中国梦」と一緒に書かれています。では、この「中国梦」とは、何なのでしょう?単に、「アメリカンドリーム」の中国版ということでしょうか?

アメリカンドリームを調べてみると、「出身等に関係なく、平等なチャンスのもと、個人が自らの努力で成功を掴む。」という概念が、「アメリカンドリーム」ということのようにです。

では、「チャイニーズドリーム」を見て行きましょう。習近平総書記が、2012年11月29日に国家博物館で「復興の道」展を見学した際に発表した重要談話内で初めて公の場で「中国夢」という言葉に言及し、「現在みなが中国の夢について語っている。私は中華民族の偉大な復興の実現が、近代以降の中華民族の最も偉大な夢だと思う。国家が良く、民族が良くて初めて、みなが良くなることができる。」と語ったとのこと。ということは、つまり「チャイニーズドリーム」とは、「国のスローガン」のようです。

「アメリカンドリーム」と「チャイニーズドリーム」、言葉は似ていますが、全く同じかと言われれば、どうやらそうでもないようです。

「国のスローガン」ということであれば、我が国日本にも「美しい国、日本」というスローガンがあります。「美しい国、日本」は、『活力とチャンスと優しさに満ちあふれ、自律の精神を大事にする、世界に開かれた、「美しい国、日本」』と定義されているそうです。

日本では、この「美しい国、日本」という言葉をよく聞きますし、この言葉をキーワードにいろいろな政策が検討・実行されています。こうして考えてみると、中国ではテレビや新聞などのメディアでも、この「中国夢」という言葉を多く見るような気がします。そして、これから中国では、「中国夢」をキーワードにいろいろな国の政策が検討・実行されていくことになるでしょう。ということであれば、中国でビジネスをする際に「中国夢」という言葉は、忘れてはいけない言葉になるでしょう。